

北海道開発局事業審議委員会（令和元年度第 1 回） 審議案件一覧（案）

	事業名	再評価理由	上段：前回再評価 下段：今回再評価	事業の概要	事業期間		全体事業費 (億円)	進捗率	事業の効果等	費用便益比全体 B/C	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針(案)	対応方針(案)決定の理由	備考
					事業化 年度	完了予 定年度										
再~1	釧路川直轄河川改修事業	社会経済情勢等	前回 (H29)	平成20年3月に釧路川水系河川整備計画を策定し、戦後最大規模である昭和35年3月の洪水を安全に流すことを目標に、堤防、河道の掘削等の整備を進めています。	H20	H39	142	約84%	整備計画における整備メニューの実施により、戦後最大規模の洪水を安全に流すことができる。	1.1	157	178	戦後最大規模の洪水流量を安全に流下させる河道の整備等を行うことに加え、堤防強化対策により、洪水被害から人命と財産を守り「安全・安心」を確保することから、当該事業の継続について異議はありません。 なお、事業の実施にあたっては、サケ・マス等の生息環境などの保全に努め、より一層、徹底したコスト縮減を図るとともに、これまで以上に効率的・効果的に執行し、早期完成に努められるようお願いいたします。	継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
			今回 (R1)	平成28年8月出水等の被災事例を踏まえ、現行の堤防・河道の掘削等の整備に加え、堤防強化対策を進めます。	H20	H39	183	約77%	同上	1.6	250	406				

- ◆重点審議案件の選定要件
- (a) 事業計画が顕著に変更された事業
  - (b) 推定便益が顕著に減少する事業
  - (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
  - (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
  - (e) その他の要因